



タッチ

TOUCH



となりにある自然

セッカ
撮影場所：和歌山市加太
撮影者：山川佳則

も く じ

- 年頭の挨拶 (尾崎院長) (2)
- 年頭の挨拶 (畑事務長) (3)
- 発熱外来について (4)
- 地域医療連携室の移転等について (5)
- 形成外科とは? (6)
- 第8回院内院内研究発表会 (7)
- 車イス寄贈 (8)
- New face! (8)
- 表彰・認定・研修修了者等 (8)
- 外来医師担当表 (9)

No.51

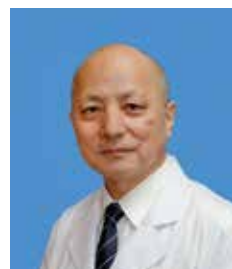
2021年2月



年頭の挨拶

ひだか病院

病院長 尾崎 文教



新年明けましておめでとうございます。昨年は未知の新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れ、当院にとっては波乱に満ちた1年でした。昨年4月、感染蔓延に伴い、県の要請もあり、感染症病棟の増床を行いました。感染対策の観点から、2階病棟全体を暫定的にコロナ専用病棟に改装しました。約50床の病棟をまるまる感染症病棟に転換したことは、70数年のひだか病院の歴史のなかでも特筆されることでしょうか。当初はその判断が不安視されましたが、昨秋に当地で発生したクラスターにも全例対応できました。また、県から依頼された症例も多々ありますが、現在まで院内での感染波及はなく、安堵しています。この間、感染症病棟に勤務された医師、看護師には随分とご無理をお願いし、ご負担をおかけしました。誌面をおかりして深謝いたします。

さて、今年の干支は牛です。波乱万丈の昨年とは打って変わり、牛歩の如くじっくりと着実に課題に取り組みたいと思います。

まず、新型コロナ感染に関しては昨年と同様の対応となりますが、院内の検査機器はこの1年間で充実しました。また、近々ワクチン接種も開始される予定です。当院は、コロナにしっかりと対応し、地域の皆様の感染症に対する不安感を緩和し、第2種感染症指定医療機関としての責務を果たします。

コロナ対策以外にも、歴代の院長が強調してきた5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）、5事業（救急医療、小児医療、周産期医療、へき地医療、災害医療）を中心とした地域医療の充実に努めます。

当院はこの5疾病5事業を、単一の病院で遂行できる県内唯一の自治体病院です。この長所をいかし、さらに内容を充実して、地域医療に貢献します。また、当地は和歌山市に比較的近い医療圏です。3次救急は日赤病院や和歌山医大に短時間で搬送できる地理的利点を有しますが、過剰に高次医療機関に依存することなく、2次医療圏の中核病院としての気概をもって診療にあたる必要があるかと思えます。

全国的に多くの自治体病院の経営が厳しいことは事実です。しかしながら営利目的ではなく、地域の医療のため貢献する自治体病院が、万一破綻することがあれば、地域のセイフティネットにも影響が大です。当院の経営問題に関し、ここ何年も警鐘が鳴らされ、対策を練っていますが、残念ながら実効性は現れていません。やはり職員個々が自分達の問題として捉えて行動することが肝要かと思えます。

昨年は新型コロナ禍で鬱屈とした日々を過ごしました。今年はワクチン接種が間もなく開始される予定で、漸く一筋の光明が見えてきました。新年を迎え気分を一新し、頑張る所存ですので、皆様よろしく願い申し上げます。

令和3年1月





年頭の挨拶

ひだか病院

事務長 畑 忠良



2021年 新しい年を迎えたよこびの中で、新しい生活様式を取り入れながらの生活をされていることと思います。

新型コロナウイルスの猛威に悪戦苦闘する日々が続き、すでに一年が経過しようとしています。最初の頃は“ただの風邪だろう”と、思っていましたでしたが全くの見当違いで、ここまで心配し不安な毎日を送ろうとは思っていませんでした。

ひだか病院では、外来患者は遠ざかり、病床稼働率は下がり、病院経営は一気に落ち込みました。

そのような中で、第2種感染症指定医療機関であるひだか病院が御坊医療圏の住民の安心安全を守るにはどうするべきかを一番に考え、新型コロナウイルス感染患者の病床確保を最優先として取り組みました。昨年4月に本来の感染病床4床に加えて2階の一般病棟48床とHCU4床を完全開放し、新型コロナウイルス感染患者受け入れ病棟と致しました。その後、感染対策、備品購入、人材確保等々、何度も変更と改修を繰り返しながら幾度も押し寄せる大きな波に対し“**ピンチをチャンスに**”を合言葉に奮闘努力してまいりました。

ひだか病院、職員621名が一致団結してこの新型コロナウイルスに立ち向かう！そして、管内6万人の命と健康、安心安全を守るために、何をする！ではなく、何かができる！と信じて今もなお頑張っています。

今年は新型コロナウイルスワクチン接種も実施されその効果が期待されます。

ひだか病院も地域の医療機関と連携してこの難局を乗り越えたく思っています

皆様が健康で一日でも早く以前の安心・安全な生活を取り戻し、笑顔で暮らせる日々が来ますよう祈念いたします。

令和3年1月



発熱外来について

外来師長 柳岡 佐智子

2019年12月以降、中国湖北省武漢で新型コロナウイルスの感染が確認され、瞬く間に世界に拡がり、パンデミック（感染爆発）を引き起こしました。国内でも2020年1月中旬に第1例目の患者が発生し、和歌山県でも、2月13日に県内1例目が確認されました。当院では翌日に感染症病床を稼働し、いち早く新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応しました。

同時に地域での感染をふまえて、来院される患者さんが安心して診療を受け、入院生活が送れるように、院内感染防止の目的で有熱者に対して仮設診察室で個別に対応する発熱外来を開始しました。GW明けからは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の第2波に備え、発熱や呼吸器症状等の有症状者を院内に誘導しないように、来院患者一人一人に検温と簡易の問診を行う玄関前トリアージを開始、現在も検温は玄関前にサーモグラフィを設置して鑑別を行い、有症状者には看護師が問診を行ったうえで、発熱外来担当医師が個別に診察をしています。また、地域の方々の発熱に関する電話相談にも、外来看護師が24時間対応で実施し、必要に応じて発熱外来の受診へとつなげています。

昨年末、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）および季節性インフルエンザの同時流行に対応できるように、発熱外来専用のプレハブを新たに設置して、12月から本格運用しています。また新型コロナウイルスに対応する検査法も、迅速かつ複数のウイルスを同時検出できるものまで様々な方法が可能となり、患者状態に応じて選択ができるようになりました。専用プレハブ内も、診察室に加えて待合室と点滴室も完備し、出入口は段差をなくして車椅子やストレッチャーで来院する患者にも対応できるように作られているため、今までより幅広い患者に対応が可能となっています。

今後も、新型コロナウイルスへの感染防止対策をしっかりと行いながら、地域の方々が安心して医療を受けられるように、皆で力を合わせて、取り組んでいきます。



地域医療連携室の移転、組織変更及び名称変更のお知らせ

患者支援センター 室長 竹田 滋紀

昨年6月1日に地域医療連携室の事務所を診療管理棟1階から一般病棟1階に移転し、隣に患者・家族・関係機関の方との相談やカンファレンス等を行える多目的室を併設、同年8月1日には組織強化のため、入退院支援室・訪問看護室と組織統合し、「地域医療連携室」の名称を「患者支援センター」に変更し、再スタートを切りました。

スタッフは医師1名、社会福祉士4名、看護師8名、事務員2名の配置となっています。入退院支援看護師と同じ組織になったことで連携がスムーズになり、退院支援の効率化を図ることが出来ました。また、地域連携部門においては、紹介元医療機関への返書のチェック機能を見直し、管理業務の改善を図りました。

患者支援センターは、今後も地域の皆様に安心して相談して頂けるよう取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【主な業務内容】

- ① 患者サポート窓口（福祉制度の説明、社会資源の情報提供等）
- ② 入院支援（予約入院の説明及び相談、転院相談、レスパイト入院の相談等）
* 予約入院の説明及び相談は、正面玄関左側の入院準備センターにて対応
- ③ 退院支援（退院相談、退院調整、患者宅への看護師による退院前後訪問等）
- ④ 地域連携（紹介予約受付、来院報告書など返書の管理、広報等）
- ⑤ がん相談支援センター（がん相談、がんサロンの開催等）

・相談受付時間：月曜日～金曜日 8：30～17:15（土日祝日を除く）

・連絡先：患者支援センター TEL：0738-24-1786【直通】



形成外科とは？

ひだか病院
形成外科 久米川 真治

和歌山県立医科大学に形成外科が開設され約 5 年、私が当院で非常勤医として診療を開始し早 3 年が過ぎましたが、県内ではまだまだ馴染みが薄く、形成外科がどのような疾患を診療対象としているのか分からない患者さんも多いようです。全国では 3000 人程度の形成外科専門医がいますが、県内には未だ 10 人程度しかおらず、残念ながら和歌山は形成外科領域の過疎地といっても過言ではありません。

形成外科では、身体に生じた欠損や変形などに対して、形態的にも機能的にも本来あるべき姿に再建修復し、また整容的によりきれいにすることによって『生活の質』の向上を目指しています。頭の前から足の先まで、表面的ではありますが、全身を対象としています。また、お子様からご高齢の方まで幅広い年齢の方を対象に診療しています。

具体的には、皮膚腫瘍、傷跡修正（醜状痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド）、眼瞼下垂、眼瞼内反（さかまつげ）、腋臭症（ワキガ）、陥没乳頭、耳垂裂、陥入爪など局所麻酔で治療可能なものは当院で手術加療を行っております。それ以外に、リンパ浮腫、熱傷、先天異常（口唇口蓋裂、小耳症、多合指症など）、顔の骨折、顔のけが、顎変形症、悪性腫瘍切除後の再建（乳房再建、頭頸部再建など）、褥瘡、難治性潰瘍、顔面神経麻痺などの治療も行っています。全身麻酔や入院が必要な疾患に関しては、和歌山県立医科大学附属病院と連携をとりながら治療を行っております。

また、当院では保険診療で治療可能な疾患のみ対応しておりますが、美容外科も形成外科の一分野とされております。適切な施術をすれば、患者さんの生活の質を向上しうる分野であると思いますが、残念なことに県内においても美容外科施術に伴う健康被害が多発しております。そのようなトラブルの窓口として、令和 2 年 10 月より和歌山医大に美容後遺症外来を新規開設しておりますので、お問い合わせ頂ければと思います。

一人でも多くの患者さんの生活の質を向上できるよう、全力を尽くしますので、気軽にご相談いただくと幸いに存じます。よろしく願いいたします。

毎週木曜日
午前 9 時 30 分～午後 12 時（外来）
午後 12 時から午後 3 時 30 分（外来手術）



第8回院内研究発表会

職員研究・業務改善学会企画員
画像診断センター 松井 知也

令和2年11月19日に第8回院内研究発表会を当院講堂で開催しました。この研究発表会は、この1年間で当院職員が学会や職能団体で発表した内容を院内で発表、討論し、職員それぞれの職能分野での資質向上を目的として開催しています。

今年は COVID-19 の影響で口頭発表は中止になりましたが、ポスター発表 14 題の発表がありました。また、部門別では看護部10題、薬剤部2題、臨床検査科1題、リハビリテーションセンター1題と各部門から発表されたこととなります。

参加人数は104人で各部署から参加されていました。アンケート回答枚数105枚でした。

アンケート結果から、「今年度について今回の形態でいいと思う」、「各発表がカラーで見やすく良かった」などの意見が頂けました。開催時期の質問でも「良くない」と記入された方がいなくて安心しました。

尾崎病院長の挨拶で「発表するまでのプロセスで新たな発見をすることにより、個人のレベルアップにつながり、ゆくゆくは病院全体のレベルアップになればいいと思います。」と話して頂いた通り、今後はもっと発表演題が増えていく事を期待します。



「R. ロード G」様より車イスの寄贈

令和2年11月12日、福祉支援グループ「R. ロード G」様より、車イスを2台ご寄贈頂きました。

「R. ロード G」様からは令和元年9月に引き続き車イスをご寄贈頂いており、お陰様で多くの方が車イスをご利用できるようになりました。

「R. ロード G」様の多大なるご支援に職員一同心よりお礼申し上げます。



表彰・認定・研修修了者等

おめでとうございます☆

令和2年9月9日

- 救急医療功労者知事表彰
尾崎 文教



令和2年10月3日

- がん相談支援センター相談員基礎研修
(1)(2)知識確認コース
湯川 彩

令和2年11月1日

- 院内がん登録実務中級者認定
芝 直人

令和2年11月17日

- 障害者職業生活相談員資格認定講習
岡田 和彦

令和2年12月1日

- がん登録実務初級者認定
堀江 敏広

令和2年12月6日

- 医師臨床研修指導医講習
寺口 郁子

令和2年12月6日

- 医師臨床研修指導医講習
今村 沙梨

令和2年12月21日

- 第2種滅菌技師認定
山田 吉紀



令和2年9月3日

- 労働安全衛生法による技能講習
(普通一圧取扱作業主任者)

令和2年9月30日

- 労働安全衛生法による技能講習
(特化・四アルキル鉛作業主任者)
岡前 篤史

New Face New Face

宮本 明

リハビリテーションセンター
言語聴覚士

趣味・特技：キャンプ・料理
なるべく早く業務を覚えて患者様や病院に貢献できればと思います。
よろしくをお願いします。

No.51

2021年2月

月の手 TOUCH

〒644-8655 和歌山県御坊市菌116番地2

TEL0738-22-1111(代表)

病院長 尾崎文教

<http://www.hidakagh.gobo.wakayama.jp/>

ひだか病院

外来診療担当医師表

令和3年1月4日

			月	火	水	木	金	
Aブロック	整形外科	1診 (予約)	湯川 指定患者のみ 受付は11:00まで	西	西	佐々木	担当医 受付は11:00まで	
		2診 (予約)	佐々木 受付は11:00まで	宮本	宮本	野中		
		新患	宮本 受付は11:00まで	野中	佐々木	西		
		リハビリ テーション診	西 受付は11:00まで	佐々木	野中	宮本		
麻酔科	午前 (指定患者のみ)	羽場	羽場		羽場	羽場		
Bブロック	外科(消化器)	1診	山口	佐原	佐原	山口	桐山	
		2診	桐山		桐山	佐原		
	小児科	1診	派遣医 神波	五嶋	杉本 (当番医)	派遣医 辻本	五嶋	
		2診	杉本	和田	五嶋	和田	杉本 第1・3・5 神経外来 第1~3週 津田 第2・4(予約)	
		午後診 (予約)	予防接種 五嶋	予防接種 杉本・和田	腎外来(第3週) 派遣医 島	1カ月健診 五嶋・鈴木	心臓外来 第1~3週 派遣医(鈴木・武内・末永)	
	脳神経外科	1診	尾崎	沖田	森脇 第1・3	尾崎	大林	
		2診	大林	尾崎	派遣医 10:00より	大林	沖田	
		午後3診 (予約)					もの忘れ外来(月1回) 交替制	
	皮膚科		派遣医	派遣医	派遣医	派遣医		
	形成外科					派遣医 久米川 受付は11:00まで		
Cブロック	眼科		井上 受付は11:00まで	井上 受付は11:00まで ※診察は13:00~	井上 受付は11:00まで	井上 第1・3・5 第2木曜日は午前中のみ	派遣医 受付は11:00まで	
	泌尿器科	1診 (予約)	青枝	青枝	青枝 第1・3・5	小倉 第2・4	小倉	
		2診	小倉	小倉	派遣医		青枝	
午後診 (指定患者のみ)		青枝	青枝	青枝	手術日	青枝		
Dブロック	内科	第1内科	1診	東	松谷	寺杣	松谷	東
			2診	寺杣	西川	深海	西川	玉置秀
			新患		深海	派遣医	派遣医	
		第2内科	5診	松野	松野	吉松	松野	玉置真
			6診	武内	玉置真	岩橋		上野山
			7診 (新患)	上野山/岩橋	武内	上野山	岩橋	吉松
		第3内科	10診			新谷		
	専門外来	8診	(午前)腎外来 派遣医 山田				(午前)血液専門外来 派遣医 阪口	
		10診		玉井 肝臓専門外来 13:00より				
		11診		曾和 健診・ドック			曾和 健診・ドック	
循環器内科	15診	今西	玉置哲	今西	今西	小向		
	12診	今村	片岩	小向	片岩	寺口		
	8診		寺口 (午前)循内ドック	寺口 (午前)循内ドック		(寺口) (午前)循内ドック		
Eブロック	耳鼻咽喉科	1診	山本	山本 予約のみ 受付は11:00まで			山本	
		2診	伊豫	伊豫 受付は11:00まで	伊豫	派遣医 受付は11:00まで	伊豫	
	産婦人科	1診	曾和	山本	松田	西森	松田	
		2診	西森	松田	曾和	山本	当番医	
	午後		産科エコー 南	手術日	手術日	産科エコー 八木		
精神科	1診	北端	派遣医	北端	北端	北端		
	2診	大星 診察は13:00~16:00	上西	派遣医	派遣医	上西		
	3診	派遣医						
歯科口腔外科		中谷 原則、初診は紹介状をお持ちの方	手術日	中谷 原則、初診は紹介状をお持ちの方	手術日	中谷 原則、初診は紹介状をお持ちの方		
救急科		派遣医 島		派遣医 足川 13:00まで	派遣医 三宅	派遣医 根本		
放射線科	読影	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内		
	午後				血管造影			

《 都合により、変更する場合がございます。 》

